

リモート機能訓練支援サービス 導入事例

社会福祉法人 久寿会 様

リハビリ専門職のノウハウをリモートで活用する仕組みを実現し
デイサービスの利用者の身体機能を大幅に改善



社会福祉法人 久寿会
法人本部 事務局長
萩原 貫 氏



社会福祉法人 久寿会
通所介護事業
管理者
川合 真規 氏



社会福祉法人 久寿会
通所介護事業
生活相談員
石野 まゆみ 氏



お客様名：社会福祉法人 久寿会
住 所：〒252-0135 神奈川県相模原市緑区大島1556番
代 表 者：理事長 萩原 秀男
法人認可年月日：平成 8年12月17日
法人登記年月日：平成 8年12月20日
事業内容：高齢者福祉施設「介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム中の郷」「軽費老人ホーム・ケアハウス中の郷」「認知症対応型共同生活介護・グループホーム中の郷」「通所介護・デイサービスセンター中の郷」「居宅支援・居宅介護支援センター中の郷」などの運営。
U R L：<http://www.nakanogou.org/>



事例のポイント

課題背景

- ・リハビリ専門職のノウハウを活かした機能訓練サービスを、限られた予算内で提供したい
- ・利用者にとって、利用しやすい機能訓練を実現し、身体機能の改善を図りたい
- ・機能訓練指導員や職員が個別機能訓練計画書などの書類作成に費やす時間を減らしたい

成 果

・リハビリ専門職がリモートで最適なプログラムを作成

遠隔の理学療法士や作業療法士などのリハビリ専門職が利用者の歩行動画などを見て作成する機能訓練プログラムにより、一人ひとりの状態に合わせた最適な機能訓練の提供が可能になった

・タブレットの動画を見ながらの便利な訓練方法で身体機能を改善

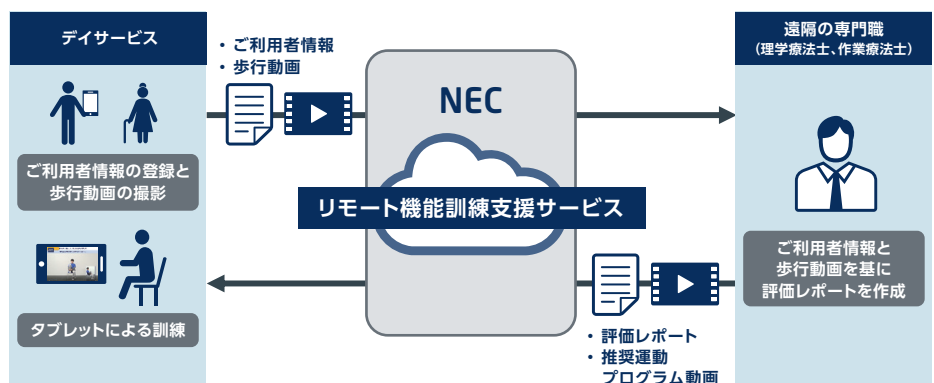
機能訓練指導員の指導のもと、利用者はタブレットの専用アプリの動画を見ながら、いつでもどこでも訓練でき身体機能が大幅に改善。精神面でも好影響が見られるようになった

・多忙な職員の書類作成の負担を軽減

個別機能訓練計画書などの書類作成の手間が省け、多忙な職員の負担が大幅に軽減できた

導入ソリューション

●リモート機能訓練支援サービス



導入前の背景や課題

個別機能訓練を重視し、 ITを活用した新たな訓練を検討

“安全で安心して安らげる福祉施設の創造”を理念に掲げ、創設以来、地域福祉の担い手として各種の高齢者福祉施設を運営する久寿会様は「デイサービスセンター 中の郷」を2施設運営しています。

国は増え続ける介護保険費用抑制のため、自立支援介護に重点を置くようになってきました。

2021年度の介護報酬改定では、個別機能訓練計画書を作成して訓練を行う「個別機能訓練加算」の見直しや、「ADL（日常生活動作）維持等加算」の拡充など、質の高い介護サービスを提供する事業所をより評価する方向性を明確にしています。法人本部事務局長の萩原氏は、こうした状況を鑑み次のように語ります。

「介護予防の観点から、個別機能訓練をより重視していきます。特に2021年度から、当会は相模原市の地域包括支援センター事業を受託しまし

た。地域の高齢者福祉の総合的な相談窓口の役割を務めるとともに、事業の一環として介護予防ケアマネジメントに取り組ましますので、今まで以上に機能訓練の取り組みを推進していきます」

「特別養護老人ホーム 中の郷」では、理学療法士を招いて機能訓練を行っています。デイサービスで同じようにサービスを提供するのはコストがかかり過ぎて難しいのが現状です。「そこで、ITの活用などによる新たな訓練方法の検討を始めたのです」（萩原氏）

選択のポイント

時代を先取りする映像利用のソリューションで 好きな所で、好きな時間に利用でき、 確かな効果を実証

「いろいろ調べているとき、NECからリモート機能訓練支援サービスを紹介されました。NECを含め4社のソリューションを比較検討しましたが、映像を利用したソリューションはNECだけでした。実際にデモをしてもらいましたが、利用者の歩行動画を遠隔のリハビリ専門職が見て機能訓練プログラムを作成し、プログラムの動画を見

て利用者が訓練するという、時代を先取りするソリューションでした。利用者にとっては分かりやすく、セキュリティ対策もしっかりしており、われわれが求めているものに最も近いものでした」と萩原氏は印象を語ります。

そこで久寿会様は、まずトライアルの期間を設け、実際に利用者に合わせた機能訓練プログラムによる機能訓練を実施しました。

「何よりも、利用者が自分のペースに合わせ、好きな所で、好きな時間に手軽に訓練できるの

で、とても好評でした。約2カ月間訓練を行うと、目に見えて効果が表れることも実証されました。また実際に利用してみると、個別機能訓練計画書づくりなどが簡単にでき、書類作成の負担を軽減するメリットがあることも分かりました。使用料金もリーズナブルなので、本格的に導入を進めようと考えていました。ところが、その矢先に新型コロナウイルス感染症が広がったため、予定よりも導入は遅れましたが、2020年8月、無事に利用が始まりました」（萩原氏）

導入後の成果

継続的な訓練により身体機能が向上し 精神的にも好影響 今後は幅広い機能訓練のニーズに応える

デイサービスの管理者として活躍する川合真規氏は、導入したソリューションを次のように評価します。

「やはりリハビリ専門職がご利用者一人ひとりの状態にあわせて作成した機能訓練プログラムの構成はよくできており、確実に機能は向上します。たとえば、体幹が悪く頸部が下向きになっていた方が、前を向けるようになり、よい姿勢が保てるようになったケースでは、本人も成果を自覚しており、ケアマネージャーからも“本当によくなり、自宅で自主トレをするようになった”と高く評価されています。筋力がつき動けるようになってくると、精神的にも上向きになってきます。

笑顔が増えてくるのが目に見えて分かるのが何よりの証拠です」

また、介護度の高い人が比較的多い「デイサービスセンター 第二中の郷」の相談員として利用者からの信頼を集める石野まゆみ氏も、実感を込めて語ります。

「訓練提供の際には、ご利用者の体調に配慮しながら“動画どおりでなく、自分のリズムに合わせてもいい”とアドバイスしながら実施しています。簡単な動きでも、続けてやっていると効果が表れてきます。まさに“継続は力なり”です。ご家族との連絡ノートには“送迎バスに軽やかに上がれるようになった”と記されていたこともありますし、グーパー体操で箸がちゃんと持てるようになり美味しく食べられるようになった方もいます。この方の場合、健康状態の改善に大きな

プラスになると思います。また訓練ではありませんが、われわれ職員にとって、書類作成の手間が大幅に省けるのはとてもありがたいことです」

「このサービスへの期待としては、たとえば歩行できない人のための上半身だけのプログラムがあるとよいと思います。自宅で長く生活できるようにするためにも、この訓練方法が広がればいいですね」（川合氏）

「今後は、地域の高齢者の介護予防の機能訓練ニーズも増える予想されます。また、コロナ禍の終息が見通せれば、デイサービスの利用者数も現状より増えると考えています。われわれは、リハビリ専門職のノウハウとITの力をフルに活用し、予防から介護度の高い利用者まで、幅広い機能訓練のニーズに応えていきます」と萩原氏は締めくくりました。

お問い合わせは、下記へ

NEC AIプラットフォーム事業部

〒211-8666 神奈川県川崎市中原区下沼部1753
URL: <https://jpn.nec.com/rtrepo/index.html>
E-mail: info@rtrepo.jp.nec.com

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品の輸出（非居住者への業務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

VEGETABLE
OIL INK

環境にやさしい植物油インキ
を使用しています。